

【田舎力しくみ委員会】

委員長 岩井 弘幸

所 信

アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界の金融市場の混乱から、2年が経過した今も尚、原材料の高騰、円高の進行、株式市場の低迷などの影響により、先行き不透明な状況が続いている。

出会う多くの人々より、時代が悪い、変わったとよく耳にします。しかし、その時代を創り育んだのは「ひと」であり、求めた結果が今現在なのです。物や技術の進歩も著しい現代にあって、便利さに頼り、「ひと」とのふれあい、日常会話など、ごく自然なことが置き去りにされ見失いつつ在る様に思えます。

しかし、丹波には都心部にない豊かさ、温かみのある会話、人情のある人々、自然とのふれあいがある暮らしがあります。その環境で育ってきた豊かな人間性（田舎力）を持った人々の為にも、私たち青年経済人が、まちの事、人々の未来を想い、行動し、各々の企業・まちの未来の発展を考えていかなければなりません。企業やまちにとって最も重要な経営資源と言われる「ひと」。経営を支えているのは、「ひと」であり、その全ての「ひと」の、田舎力を最大限に發揮できる経営をすることが、企業やまちの経済的発展へつながると考えます。

本年度、田舎力しくみ委員会では、「ひと」とまちと企業が発展していくけるような人間性豊かな経営手法を学べるような活動をしていきます。

基本方針

- 一、「ひと」の豊かな人間性を育成します
- 一、田舎力を発揮できる経営手法を学びます

事業計画

1. 2月例会
2. 40周年記念式典 (5月)
3. 9月事業例会
4. 会員拡大への絶対推進
5. 各委員会との連携及び支援
6. 理事長諮問に関する事項